

床用プライマー

■床用プライマーは、弊社製セメント系セルフレベリング材『エスレベル』専用開発された、アクリル系ラテックスです。

●特 徴

- (1) 下地への塗り広げが容易で作業効率が向上します。
- (2) 耐アルカリ性に優れており、接着力の高い成膜を形成します。

●性 状

成分 / アクリル系ラテックス	外観 / 乳白色
PH / 8.0 ± 1.0	比重 / 約 1.1
粘度 / $10 \sim 3000 \text{ cpa} \cdot \text{s}$ (30°C)	最低成膜温度 / 3°C

●荷 姿

- ・18kg 丸缶



●床用プライマー塗布の際の接着界面構造



(電子顕微鏡写真)

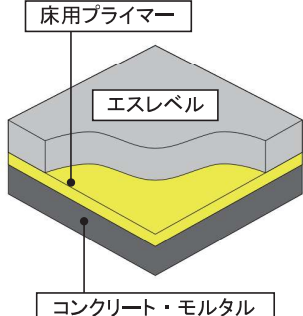
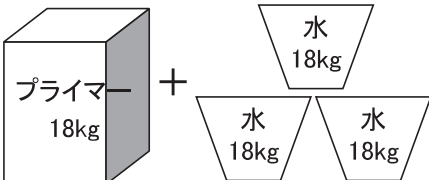
- (1) 下地の吸水を抑制し、気泡の発生を防止する。
- (2) 下地表面の脆弱部に浸透し、乾燥固化する。
- (3) セメント水和物と機械的に結合する。

以上の様に、床用プライマーは、十分に乾燥し被膜を形成させることで、優れた性能を発揮します。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0912014
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

床用プライマーの使用方法

●2回塗りを標準とします。

	希釈例：4 倍希釈液の作成		使用量目安	
	プライマー：水＝ 1 ： 3			
				
	下地状況	塗布方法	塗布量	
	金ゴテ押え 高強度コン	4～6希釈液 1～2回塗布	約 200m ² / 缶	
木ゴテ押え 雨打たれ	4～8希釈液 2～3回塗布	約 100m ² / 缶		
※上記以外の特殊な下地の場合は弊社にご相談下さい				
※下地の吸水状態によって塗布量は変化します				

●事前の下地処理

- ① プライマー塗布前の下地処理は、ホウキ・ブラシ・掃除機等を使用し、十分にゴミ・ホコリ等を除去して下さい。
- ② 下地のレイトンス・油分等の付着阻害物は、完全に除去して下さい。
- ③ 雨打たれ等で下地コンクリートの表層が脆弱な部分や突起物がある場合は、除去して下さい。
- ④ 壁の立ち上がり、床下電気配線孔等の空隙は十分に目止めを行ってください。

●使用上の注意事項

- ① 本製品は、弊社のエスレベル専用のプライマーとしてご使用下さい。
- ② 他メーカーのプライマーをご使用された場合、品質保証は致しかねます。
- ③ プライマー塗布の際は、デッキブラシか自在ホウキ等で下地に刷り込むように塗り広げて下さい。
- ④ 塗布後、下地の凹部に溜りが残る場合は、周囲に塗り延ばして下さい。そのまま打設しますと、剥離の原因や表面の仕上がりに影響を来す場合があります。
- ⑤ 壁際の塗布の際、石膏ボード・木枠等水分の吸い込みの恐れがある部材に接する箇所はあらかじめ打設のレベル高さまでプライマーを塗布しておくことも有効です。ただし、アルミサッシや白木の幅木・家具等仕上げ部材に接する箇所では、プライマーが付着すると後で「シミ」で残る場合がありますので十分に養生して下さい。



自在ホウキによるプライマー塗布

○プライマーの塗布に不向きな道具

ゴムヘラ、発泡樹脂等のローラー、撒布器・ジョウロ等による塗布では、下地からの気泡発生や接着強度不足によるクラック・剥離が発生する危険性が高くなりますので、使用しないで下さい。

●取り扱い注意

- ◇ 全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わない。
- ◇ 保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを使用する。
- ◇ 換気の良い場所で使用する。
- ◇ 保管温度は5℃以下あるいは35℃以上とならないようにする。
- ◇ 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。
- ◇ 内容物や容器の処分は、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

応急処置

- ◆ **目に入った場合**：洗浄な水で数分間、注意深く洗浄する。眼の刺激が続く時は、医師の診断／手当てを受ける。
- ◆ **皮膚に付着した場合**：汚染された衣類を全て脱ぎ、付着した部分を多量の水と石鹸で洗浄する。皮膚刺激または発疹が乗じた時は、医師の診断／手当てを受ける。
- ◆ **吸入した場合**：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受ける。

(2024年6月1日改定)

日鉄高炉セメント株式会社

東京グループ	〒103-0024 中央区日本橋小舟町12番7号(日本橋MMビル4F)	☎03-6856-0947
名古屋グループ	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目26-13(ちとせビル8F)	☎052-485-5748
大阪グループ	〒541-0041 大阪市中央区北浜4丁目8-4(住友ビルディング第4号館2F)	☎06-7669-6410
九州グループ	〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号(博多NSビル2F)	☎092-283-0311
本社SL事業部	〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地	☎093-563-5118